

希望のひかり - Ray of Hope -

希望のひかり とは？

「希望のひかり」は、恵まれない子どもや災害被害にあわれた方などを援助するために、エコサイクル（株）が設立した福祉団体です。例えば、経済的に恵まれない子どもや十分な医療サービスを受けられない子ども、児童養護施設に入所している子ども、心身にハンディキャップをもっている子どもなどを対象に、病気療養のための援助や健全な発育のための教育事業を行っております。そのほか、自然災害などにより避難生活を余儀なくされている方たちへの援助等も行っております。

■ 活動のご紹介

● 手術費支援



インドの貧しい家庭に生まれ、生まれつき脊椎が湾曲していた少女の手術費用を援助しました。

● 復興支援



2016年の熊本地震の被災地へ、ピースウィンズジャパンを通じて寄付を行いました。洗濯機を設置しました。また、東日本大震災では、日本赤十字社を通じて寄付もしました。

● 貧しい家庭の子どもや孤児への寄付



東京都江戸川区の貧困家庭の子どもや孤児に寄付をしました。

(左) 江戸川区 副区長 原野 哲也様

● 『希望の家』への寄付と、子どもたちの楽しい交流イベント



保護者がいない子どもや虐待されている子どもなどを支援している『児童養護施設 希望の家』へ寄付をしました。

(左) 児童指導員 福家 英幸様
(右) 江戸川区議会議員 栢秀行様

施設の子どもたちに楽しんでもらおうと、インドの子どもたちとの交流イベントを行いました。子どもたちは言葉や文化の壁を越えて交流し、ゲームを楽しんだり、おいしいインド料理を味わったり、たくさん笑顔を見せてくれました。



● 科学実験体験



科学への興味を持ってもらおうと、夏休みにエコサイクル(株)の技術研究所で実験体験をおこないました。学校での勉強では本を見て学ぶことが中心になりますが、実際に見て体験することで、科学の不思議をより身近に感じてもらうことができました。学校で勉強する意欲につながればと考えています。

● インドの学校へ給食支援



インドの森などで暮らしている人々は、学校に行く必要性がわからず、学校に行かないケースが多くあります。そこで、学校給食を支給する支援を行い、子どもたちが学校に行くきっかけを作りました。学校に通うことで、子どもたちの生活の中に勉強する環境が生まれました。

● ソーラーライトの設置



インドのゴア州の村へソーラーライトを設置しました。この村は約100人ほどの人々が家を持たずにホームレスとして暮らしています。電気がないため夜はろうそくの明かりがなく、子どもたちは暗くなると勉強することができませんでした。ソーラーライトの設置により、住民は夜も安全に過ごせるようになり、子どもたちは夜も勉強できるようになりました。

● ホームレスへの炊き出し



真冬に新宿のホームレスへ炊き出しとして、ラーメンを配りました。

特定非営利活動法人(NPO) 希望のひかり

<概要> 名称：特定非営利活動法人 希望のひかり 設立：2017年4月
理事長：シュリハリ チャンドラガトギ
出資企業：エコサイクル株式会社
所在地：〒103-0007東京都中央区日本橋浜町2-28-1日本橋・浜町ビル